

## ■インド：気候変動関連に今後10年間で1,500億ドルの投資機会

香港上海銀行（HSBC）が2008年11月27日に発表した報告書「インドの気候変動分野への投資機会」の中で、インドの気候変動分野において、2008～2017年に1,500億ドルの投資機会が見込めるとしている。これは、2008年6月に発表された「国家気候変動行動計画」などの政策が呼び水になるとしている。有望な投資分野として11分野があり、クリーンコール技術に1.7兆ルピー、バイオ燃料に1.47兆ルピー、風力に1.34兆ルピーなどとしている。また、気候変動関連事業で有望なインド企業として、電力設備メーカーであるBHEL、建設大手のLarsen&Toubro、石油ガス公社のONGC、大手財閥系のReliance Industries、エタノール・メーカーのShree Renuka Sugars、パイプライン・メーカーのPSL、およびWelspun Gujaratの7社を挙げている。気候変動関連事業への投資の結果として、2017年以降、年間2,800万トンのCO<sub>2</sub>の排出抑制が可能になるとしている。